

山口県の 中小企業

SMALL BUSINESS ASSOCIATIONS OF THE
YAMAGUCHI PREFECTURE

6 2014
Jun
Vol.674



表紙写真説明

「新ものづくり補助金」採択企業説明会
(山口市「山口県健康づくりセンター」)

特集 「2014年版中小企業白書」の概要

- 「いま、これを伝えたい！」
企業組合こころ大島
- シリーズ「ものづくり補助金活用事例紹介」
富士高压フレキシブルホース株式会社
- 平成26年度夏季資金(短期運転資金)の実施について
- 「新ものづくり補助金」事務処理説明会を開催
- 労働保険の年度更新手続等について
- 景況動向
- 中央会理事会を開催
- 第66回中小企業団体全国大会のご案内
- 山口県知事、山口労働局長、山口県教育長が若者の正規採用枠確保等を要請

「いま、これを伝えたい！」
**住み慣れた自宅で療養生活が送れる
 訪問看護を目指して！**

企業組合こころ大島

【設立の経緯】

今、全国で高齢化の進行及び療養病床の減少等に伴い、在宅医療の要である『訪問看護』の需要が増加しています。特に高齢化が進み、「訪問看護」のニーズが年々顕著である周防大島地域において、同組合は、住み慣れた自宅で安心した暮らしを続けていくことのできる付加価値の



組合事務所



フロント兼カフェ

高い訪問看護ステーションの開設を目的として平成25年6月に設立しました。県内では初めての看護・介護関連の企業組合の設立です。

【24時間の緊急時連絡体制による手厚いサポート】

昨年10月1日に「訪問看護ステー



「訪問看護ステーション こころ大島」

ション「こころ大島」をオープンし、看護師である村上理事長を含む他のナースが利用者の家庭を訪問し、医師や関係機関と連携をとり、病状や療養生活を看護師の目で見守り、適切なケアや生活上のアドバイスなどを行い、サポートしています。また、様々なケアサービスの提案を行うとともに、小規模な買い物サービスも行っています。今後は、地域に根付き、高齢者やその家族などの方々お一人お一人との縁を大切に組合活動を続けていくことをモットーとして、「看護以外のことでも何でも相談して下さい。」

「人生相談もOKですよ。」をキャッチフレーズにPRをされています。

【多くの方に安心とほっとするひとときを】

村上理事長は、「組合の名前のごとく、人の心の温もりを利用者の方へ届けていきたい。利用者一人一人のニーズにお応えして、一人でも多くの方が安心して、私たちが訪問することで、ほっとするひとときをお届けできるような活動をしていきたいと考えています。住み慣れた自宅で生活ができるよう『訪問看護』を充実していきたい。」と抱負を語られました。

企業組合こころ大島

【組合概要】

- 代表者：村上 幸子
- 組合員数：4名
- 組合住所：大島郡周防大島町大字 椋野字江ノ尻208-8
- ☎ 0820-80-4001 FAX 0820-80-4001

【組合の主な活動】

介護保険法に基づく居宅サービス業・介護予防サービス業ほか

「2014年版中小企業白書」の概要

経済産業省中小企業庁は、「2014年版中小企業白書」をとりまとめ、4月25日閣議決定いたしましたのでその中の「平成25年度中小企業の動向」概要を掲載します。

第1部では、最近の中小企業・小規模事業者の動向について分析し、第2部では、より中長期的な観点から、中小企業・小規模事業者が直面する経済・社会構造の変化（人口減少、地域の抱える課題等）について分析を行う。これらを踏まえた上で、第3部で、五つの柱（小規模事業者の構造分析、起業・創業、事業承継・廃業、海外展開、新しい潮流）に従って、現状分析と課題抽出を行うとともに、それぞれについて具体的な政策提言を行う。

さらに、第4部では、中小企業・小規模事業者385万人に施策を届け、効果的かつ効果的に支援していくため、支援の在り方の分析を行う。

第1部 平成25年度(2013年度)の中小企業・小規模事業者の動向

我が国経済は、2013年に入ってから、底堅い個人消費や企業マインドの改善等を背景に、一部に弱さが残

るものの持ち直しの動きを見せ、足下では緩やかに回復している。

中小企業の景況判断は、着実に改善しているものの、小規模事業者の景況判断は、中小企業・小規模事業者全体に比べると低い水準にある。その一方で、原材料価格の高騰等を背景に、中小企業の収益環境は引き続き厳しい状況にある。中小企業が比較的弱いとされる価格転嫁力について、70年代半ばから分析すると共に、中小企業の収益力向上のために、価格転嫁力の向上と労働生産性の向上が必要であることを示す。

第2部 中小企業・小規模事業者が直面する経済・社会構造の変化

●我が国の中長期的な構造変化
中小企業・小規模事業者が直面する中長期的な経済・社会構造の変化として、人口減少・少子高齢化、海外との競争激化、情報技術の発達、就業構造の変化等について概観する。

人口減少・少子高齢化等による需要の縮小という厳しい事業環境が予想される一方で、外国人観光客の取り込みや情報技術の進展によるビジネスチャンスも広がっており、これらを踏まえた、中長期的な経営戦略の必要性を説く。

●地域の抱える課題と地域活性化

我が国の経済・社会構造が変化する中、地域経済は特に厳しい。地域が抱える課題である、人口減少・少子高齢化、商店街・繁華街の衰退について分析する。とりわけ、人口減少・少子高齢化については、2040年までの中長期的な観点から、独自の分析を行う。また、これらの課題を解決し、地域活性化の切り札となり得る「地域資源」についても概観する。具体的には、「農水産品」や「観光資源」の活用必要性を説く。

第3部 中小企業・小規模事業者が担う我が国の未来

●小規模事業者
地域の経済社会・雇用を支える重要な存在たる小規模事業者の現状、実態、課題等について、約18,000社のアンケートに基づき、商圏に基づく類型化（地域需要志向型、広域需要志向型）や組織形態に基づ

く類型化（維持・充実型、成長型）など本格的な構造分析を行う。

小規模事業者の最大の課題は「需要・販路開拓」であるが、地域需要志向型の小規模事業者は、住民との信頼関係を活かしたニッチな需要の掘り起こしを目指すべきこと、広域需要志向型の小規模事業者は、インターネット販売の活用や大企業とのマッチングを通じた需要開拓を目指すべきことを提言する。

●起業・創業

起業・創業は、新たな地域経済の担い手を創出すると共に、産業の新陳代謝を促す。しかしながら、我が国の起業希望者は激減しており、開業率は欧米諸国の半分又はそれ以下となっている。こうした現状を踏まえ、起業に至るまでのステージに応じて、女性、若者、シニアに特に焦点を当てた課題分析を行う。この結果、我が国の起業・創業を活性化させるためには、「起業意識」、「起業後の生活・収入の安定化」、「起業に伴うコストや手続きの低減」という三つの課題への対応が必要であることを明らかにすると共に、それぞれについて具体的な対応策を提示する。

●事業承継・廃業

経営者の高齢化の進展に伴い、事業承継は喫緊の課題となっている。

近年、「親族内承継」の割合が低下し、「第三者承継」の割合が増加している一方、経営者の意識や準備状況は十分とは言えない。このため、「第三者承継」を円滑に実施していくため、早期の意識付けの必要性と具体的な支援体制の在り方について提言する。

近年、休廃業・解散件数が増加傾向にあり、その主たる要因も経営者の高齢化にある。廃業に関する最大の課題は、家族や親族以外、誰にも相談できる相手がいないという点にあるため、廃業に関する基本的な情報提供、匿名性に配慮した専門家支援等、具体的な対応策を提示する。

●海外展開

人口減少等で国内市場が縮小する中、旺盛な海外需要を取り込むべく、中小企業・小規模事業者は、積極的に海外展開（輸出・直接投資）をしている。輸出と直接投資のそれぞれについて現状分析を行い、成功と失敗の要因を探ると共に、海外への一歩を踏み出すために必要なこと、及び、直接投資先からの撤退についても分析している。

今後ますますニーズが高まる中小企業・小規模事業者の海外展開について、公的支援機関だけで全て対応していくことは現実的ではない。こ

のため、専門性を有し、きめ細かいニーズにも対応できる民間の海外展開支援事業者との連携も模索する。

●新しい潮流

経営資源に乏しい中小企業・小規模事業者にとって、ITを活用して、外部から必要な人的資源を調達する「クラウドソーシング」や、資金を調達する「クラウドファンディング」は、長年の経営課題を克服する可能性がある。

事業を通じて社会的な課題を解決することで、社会価値の創造と企業価値の創造との両立を可能とする「CRSV (Creating and Realizing Shared Value)」という考え方は、地域に根ざした事業を行う中小企業・小規模事業者の一つの「生きる道」にもつながることを示す。

第4部

中小企業・小規模事業者の支援の在り方

●中小企業・小規模事業者支援の現状と今後の課題

中小企業・小規模事業者にきめ細かく支援施策を届けていくためには、国・都道府県・市区町村が、互いに連携していくことが不可欠であり、その連携を促進する一つの手法として、すべての施策を検索し、比較・一覧できる「施策マップ」を構築す

る。

商工会・商工会議所を含めた中小企業支援機関全体の現状と課題について分析すると共に、中小企業支援機関同士、自治体と中小企業支援機関との連携状況についても概観した上で、モデルとなりうる連携事例を複数紹介する。最後に、「よろず支援拠点」を含めた今後の中小企業・小規模事業者支援体制の在り方について提言する。

●施策認知度

地域経済を支える385万者の中小企業・小規模事業者に施策情報をしっかりと届けていくためには、中小企業・小規模事業者、中小企業支援機関、自治体の3つの視点から、中小企業・小規模事業者施策の認知度、活用状況、評価等について、それぞれ分析していく。

本分析に基づき、国は、今後、都道府県のみならず、市区町村や中小企業支援機関向けの「Face to Face」の施策説明会を、早期かつ積極的に実施する。また、「施策マップ」やメルマガの充実に加え、施策担当者が動画でわかりやすく施策を説明する。

●コネクターループ企業と地域産業構造分析システム

地域経済活性化の「鍵」を握るの

は、地域経済に資金を域外から調達し、域内に配分している「コネクターループ企業（地域中核企業）」である。民間調査会社が保有する膨大な企業間取引データ（ビッグデータ）を活用し、このコネクターループ企業を抽出するとともに、地域経済における産業構造の実態を空間的かつ時系列的に把握し、国や都道府県・市区町村による地域産業政策や地域活性化政策の立案を支援する「地域産業構造分析システム」（2014年中の開発予定）について、説明する。

- (1) 全産業花火図…地域内における主要産業の全体像を把握する。
- (2) 産業別花火図…行政区域を超えた取引ネットワーク、産業構造を把握する。
- (3) 企業別花火図…コネクターループ企業を中心とした取引関係把握する。



シリーズ「ものづくり補助金活用事例紹介」 その10

『丸棒、6角材加工工程集約のための
2スピンドルNC複合加工旋盤導入』

富士高圧フレキシブルホース株式会社

- (技術分野) 切削加工
- (類型) 設備投資のみ
- (形態) 小口化・短納期化
- (会社概要)

当社は、油圧ホース及びアセンブリのメーカーです。日本製品の品質のベースとなる重要な駆動系を担っており、高品質・高機能を軸に事業展開しています。特に過酷な環境下での建設機械用ホースの分野において、高品質、高耐久性ニーズにより、数多くのメーカーから採用されています。

(事業概要)

油圧継手製造において、少ロット品は複数工程毎の単体機製造であった。多品種少ロット品の対応として2スピンドルNC複合加工旋盤を導入することにより素材投入から完成品までの一貫生産ラインを構築し、コスト低減と短納期化を実現することを目指しています。

この度は、製造加工工程集約のための新規設備導入に関し、ものづくり補助金を活用させていただきました。ホース端に取り付けるコネクター部分は輸入品に頼ることが多い中、今回はそれらの短納期対応、さらなる高効率化を目標に取り組みました。



代表取締役
藤井 佑三氏



2スピンドルNC複合加工旋盤

富士高圧フレキシブルホース株式会社

〒743-0063
山口県光市島田6丁目2番20号
TEL : 0833-71-1550 FAX : 0833-71-1585
URL <http://www.fujikoatsu.co.jp/>

平成26年度夏季資金(短期運転資金)の実施について

「夏場のボーナス資金などに。県の夏季資金をご利用ください。」

県では、夏場の中小企業の資金需要に対応するため、夏季資金の融資を実施します。

区分	内容
実施時期	5月19日(月曜日)～8月29日(金曜日)
融資限度額	800万円(不況業種※1,000万円、組合4,800万円)
融資利率	年1.9%(責任共有制度対象外となるものは1.7%、信用保証協会の保証無は2.0%)
保証料率	年0.34%～1.76%(責任共有制度の対象となるものは、0.34%～1.45%、対象外となるものは、0.40%～1.76%。なお、国のセーフティネット保証等に該当する場合は年0.65%)
融資期間	5ヶ月以内(原則として一括償還)
融資枠	60億円
担保	指定取扱金融機関又は保証協会の定めるところによる。
取扱金融機関(申込先)	次の金融機関の県内本支店 山口銀行、広島銀行、福岡銀行、西日本シティ銀行、伊予銀行、十八銀行、西京銀行、もみじ銀行 東山口信用金庫、萩山口信用金庫、西中国信用金庫、山口県信用組合、朝銀西信用組合、 信用組合広島商銀、商工組合中央金庫
問合せ先	上記の取扱金融機関 山口県信用保証協会(☎083-921-3094) 県経営金融課(☎083-933-3188)

※不況業種：206業種(産業分類細分類)〈中小企業信用保険法に基づき国が指定〉

■お問い合わせ 経営金融課 金融支援班 ☎083-933-3188 FAX 083-933-3209
E-mail : a16300@pref.yamaguchi.lg.jp

俵山温泉の温泉力は「強力な還元力」と「豊富な水素力」を発信!

俵山温泉合名会社

俵山温泉合名会社では、昨年度、山口県観光連盟及び長門市からの助成により募集したプチ湯治モニター及び通い湯モニターによる湯治体験を通して、美肌効果、予防医学としての有効性について体験前、体験後の健康調査及びデータ分析及び検証を実施し、4月22日(火)に記者発表を行いました。

リウマチ、神経痛の療養に親しまれてきた同温泉が、現代人の健康維持、病氣療養、生活習慣病予防、美白効果等に効果・効能があるものと結論づけられました。

俵山温泉合名会社の鷲頭一樹代表は、「アンチエイジングというロマンの世界だと思っていたことを科学で実証できたと思います」と述べられました。



検証の結果を発表する札幌国際大学松田忠徳教授

加工所を整備、開所式を開催

企業組合岩国尾津つこ



企業組合岩国尾津つこ(石飛久江理事長)では、平成18年から任意グループとして、「岩国レンコンを中心とした地元農産物加工販売

等の展開」をテーマに取り組んだ「平成24年度地域需要創造型等起業・創業促進事業」により加工所設備を整備することとなった。このため、加工所設備の運営主体として、平成26年4月に企業組合を設立し、この度、加工所が完成し、5月14日(水)、岩国市尾津にて、開所式を執り行いました。

当日は、加工所看板の除幕式、記念撮影、施設見学等が行われました。企業組合では、これまで6年間のグループ活動を通じて開発した、レンコンの加工品や惣菜などを生産し、販売することとしています。

世界理容大会で「金」

山口県理容生活衛生同業組合

ドイツのフランクフルトで、5月4日・5日に開催された第35回世界理容美容技術選手権大会の国別対抗団体戦で、山口県理容生活衛生同業組合(角野悦雄理事長)の組合員である倉重勝憲氏ら日本代表の全国理容連合ナショナルチームがみごと優勝しました。倉重さんは、5月22日(木)、山口県庁を訪問し、村岡嗣政県事に金メダルと作品を披露しました。今大会は、44の国・地域から延べ1,220名が参加し、個人戦と国別対抗団体戦で技能を競いました。



後列左から2人目が倉重さん

原っぱまつり開催!

みどりの風協同組合



ゴールデンウィークの5月3日から5日の五月晴れの3日間、山口市阿東の船方農場の牧草地で、みどりの風協同組合(坂本多且理事長)主催による恒例の「原っぱまつり」が開催されました。イベント内容は、仔牛の体重当て、乳搾り、花つりゲーム、チビッコスケッチ大会と、家族づれが楽しめるイベントが満載。また、5日の「こどもの日」には、チビッコマラソン大会が、小学生・幼児限定で78名が参加して、大自然に囲まれた雄大な農場にて盛大に行われました。農場には、ウシ、ヤギ、うさぎ、あひるなどかわいい動物がいっぱいで、チビッコたちは大はしゃぎで大いに楽しんでいました。

「新ものづくり補助金」事務処理説明会を開催

5月8日(火)、本会は、山口市の「山口県健康づくりセンター」にて、「新ものづくり補助金」事務処理説明会を開催しました。当日は、第1次第1回公募の採択企業34社、72名が出席しました。

はじめに、採択決定書交付では、34社を代表していただいた、株式会社長門製作所代表取締役武永敏博氏に本会石川専務理事より採択決定書を手渡しました。

続いて、全国中小企業団体中央会事業推進部長佐久間浩氏及び本会石川専務理事の挨拶の後、本



会連携支援部佐々木部次長より、本申請に係る流れや留意点、実施中の注意事項、事業終了後の義務等について「事務処理の手引き」を活用し、説明を行いました。



その後、質疑応答のほか、担当の「ものづくり支援室」のコーディネーター、本会職員と採択企業担当者との挨拶、名刺交換や個別相談等懇談を行いました。

今後、3回目の公募となる第2次公募が予定されています。詳細が決定次第、本会メールマガジンやホームページなどお知らせします。多くの皆さんの応募をお待ちしています。

中小企業庁ホームページ:

<http://www.chusho.meti.go.jp/>

山口県中央会ホームページ:

<http://axis.or.jp/>

ご相談・お問い合わせ先

山口県中央会

0083-622-2909

事業主の皆様へ

労働保険の年度更新手続等について

-お知らせ-

◎ 年度更新の手続について

労働保険に係る平成25年度分の確定保険料と平成26年度分の概算保険料の申告・納付手続は**6月1日から7月10日**までの間に行ってください。(申告書等をご持参される場合は、6月2日からになります。)

◎ 電子申請、電子納付について

電子申請を行うこともできます。また、申告書を電子申請した場合には電子納付を行うこともできます。詳細については、電子政府の総合窓口 <http://www.e-gov.go.jp/> をご覧ください。

6・7月の2ヶ月間、山口労働局労働保険徴収室に、労働保険手続に係る電子申請体験コーナーを設置することとしておりますので、是非ご活用ください。

◎ 申告書受付相談会の開催について

県内各地において、申告書の記入相談・受理、保険料の納付などができる「申告書受付相談会」を行いますので、ご利用ください。

お問合せ先：山口労働局労働保険徴収室 ☎083-995-0366

ホームページ <http://yamaguchi-roudoukyoku.jsite.mhlw.go.jp/>

月次景況調査結果

平成26年4月期

※DI値(前年同月比) = 増加・好転組合割合 - 減少・悪化組合割合
 (表については、情報連絡員60名の他に、中央会が聞き取り等で集めた20組合のデータが加算されています。)

業種別の景況

	業 種	4月期	対前月比
製 造 業	食 料 品	☔	→
	織 維 工 業	☁	→
	木 材 ・ 木 製 品	☁	→
	印 刷	☔	→
	窯 業 ・ 土 石 製 品	☁	↘
	一 般 機 器	☁	↗
	輸 送 機 器	☔	→
非 製 造 業	卸 売 業	☁	↘
	小 売 業	☔	↘
	商 店 街	☔	↗
	サ ー ビ ス 業	☔	↘
	建 設 業	☁	↘
	運 輸 業	☔	↘

4月期は消費税増税前の駆け込み需要の反動に関する報告が多く、増税の影響を受けている業種が少なからずある。卸売業、小売業、サービス業等については若干悪化しているが、一方で、食料品、卸売業の一部からは消費税増税の影響は、「あまりない」とある。

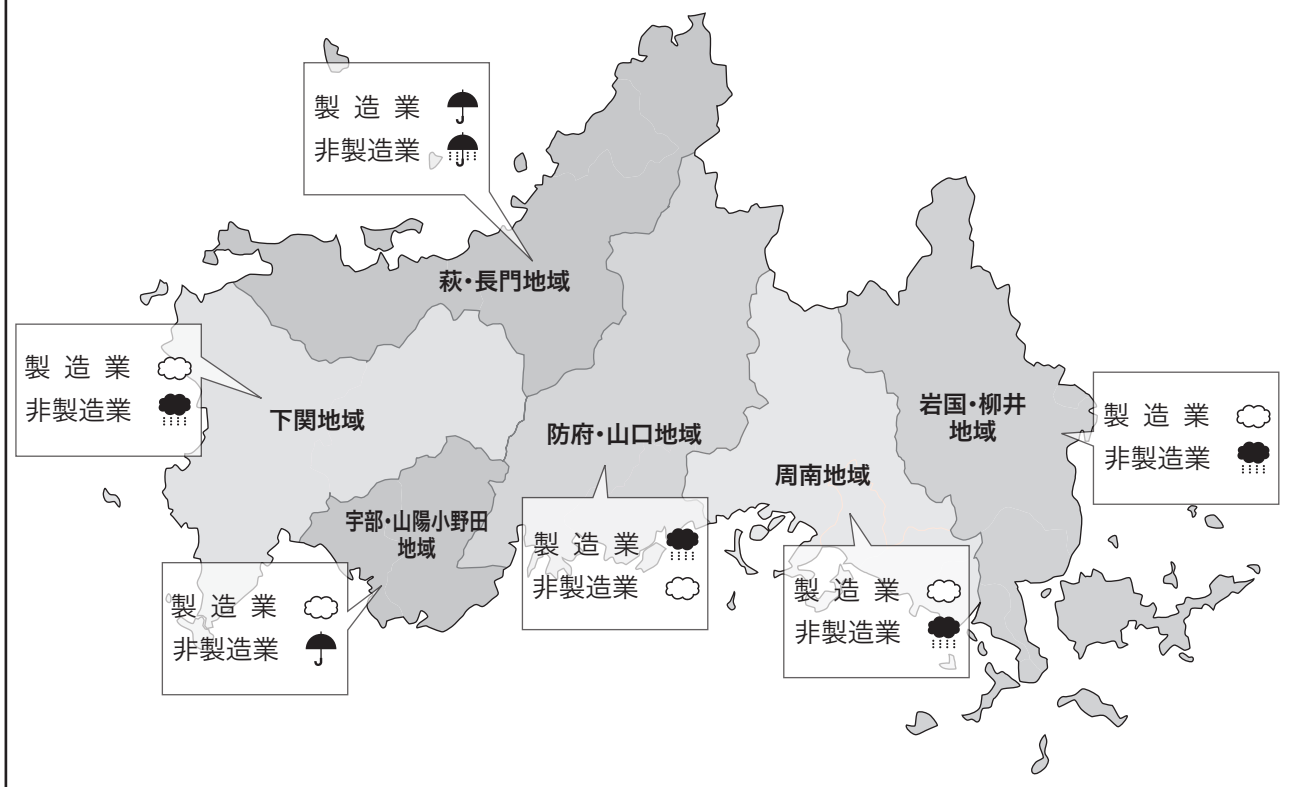
製造業関係は引き続き明るさが見えている。一般機器、輸送機器、建設業等では仕事が増えている中で、引き続き人材不足が続いている。

県内中小企業は、燃料費・原材料費の高止まり、また、消費税増税後の反動からの回復時期が予測できない厳しい状況の中にあり、今後の景気動向を引き続き注視する必要がある。

DI値

30以上	☀	-30以上-10未満	☔
10以上30未満	☁	-50以上-30未満	☔
-10以上10未満	☁	-50未満	☔

地域別の景況



情報連絡員報告

平成26年4月期

地区・業種を代表する県内組合の役職員60名の方から、毎月、業界の景況動向等に関する情報を収集・分析し、行政・関係機関に情報提供しています。

また、中央会ホームページ (<http://axis.or.jp/>) の「月次景況調査」にも掲載していますのでご活用下さい。

製 業	食料品	☔	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3月の消費税増税前の駆け込み需要の反動で4月の売上は減少。(調味料製造業) ○ 消費税増税分とコストアップ分の値上げをした菓子店は、10%への増税時には値上げをしない計画。大手への価格改定はスムーズに受け入れられ、また、来店客の減少は、極端には無かった。(パン・菓子製造業)
	繊維工業	☁	<ul style="list-style-type: none"> ○ 消費税増税後は、店頭での売上げも激減している状況。3月受注の未消化分を4月に生産をしたので、稼働はますますであった。5月以降が心配。(下着類製造業) ○ 短納期で小ロットの生産が国内生産に戻って来ている。(外衣・シャツ製造業)
	木材・木製品	☁	<ul style="list-style-type: none"> ○ 消費税増税前の駆け込み需要も一段落し、価格も低下傾向であるが、前年同月と比較すると景況は良好である。(下関市) ○ 新設住宅着工戸数は減少に転じ、木材価格も対前月でマイナスが継続している。(山口市)
	印刷	☔	<ul style="list-style-type: none"> ○ 年度初めと駆け込み印刷需要の積み残しで4月は好調。ゴールデンウィーク以降は厳しくなると思われる。(印刷)
	窯業・土石製品	☁	<ul style="list-style-type: none"> ○ 出荷量は、前月比98%、前年同月比113%。25年度出荷は、対前年度比106%で、2年連続前年度比がアップしたが、26年度は前年度比約90%と厳しめの見通し。(生コンクリート製造業)
	一般機器	☁	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自動車、機械製造関係企業の設備の稼働率は上昇傾向にあり、人手不足から外国人実習生受け入れの相談があった。(一般機械器具製造業) ○ 金型の4月設備操業度は、3月に比べ上がっている。マシニングセンタ、放電、ワイヤー加工が大変忙しく6月一杯まで継続の見込み。(特殊産業用機械製造業)
	輸送機器	☔	<ul style="list-style-type: none"> ○ 鉄道車両生産は足踏み状態。発注者の注文が遅れがちで、納期前の混乱が懸念される。精密加工はもう暫く、好調な生産が続く見込み。(鉄道車両・同部品製造業)
非 製 業	卸売業	☁	<ul style="list-style-type: none"> ○ 一部の事業所を除いては、少しずつ景況が好転しているように思われる。消費税増税の影響は今のところあまりなさそうである。(各種商品卸売業 防府市) ○ 消費税増税に伴い、消費者の消費スピードが落ち、商品の動きが鈍いので、早いうちに元の荷動きに戻ることを期待している。(各種商品卸売業 山口市)
	小売業	☔	<ul style="list-style-type: none"> ○ 酒・食料品店は、消費税増税前の駆け込み需要の反動で売上が伸びず。衣料・呉服店は、季節の変わり目でお年寄りの購入が微増。電気器具は、消費税増税の反動で、売上が大きく減少。薬品・化粧品店は、ディスカウントの薬局に客が流れている。米穀店は、状況は悪化で変わらず。時計店は、消費税増税後は買い控えの状況。家具店は、消費税増税後、一段落している。(各種商品小売業 岩国市) ○ 3月は消費税増税前の駆け込み需要で、前年同月比で36%の増。4月はその反動で16%の減。回復はいつか、現状では見通せない。(各種商品小売業 山口市)
	商店街	☔	<ul style="list-style-type: none"> ○ 4月はイベントも無く、駐車台数も減少。消費税増税後、消費者が益々厳しくなっており、なかなか売上アップには繋がらない。大型連休に期待する。(山口市) ○ 消費税増税の影響で客足はやや鈍化している。特に高齢者にとって増税は、値上がりの感覚が強いもよう。(萩市)
	サービス業	☔	<ul style="list-style-type: none"> ○ 消費税増税の影響からか、やはり来店者数の減少傾向である。国民健康保険料等も上昇して、消費意欲の低下を感じる。(美容業) ○ スポーツ団体・スタッフ等の宿泊があったビジネスホテル等は、前年より売上が良かった。団体より個人での観光の宿泊が伸びている。(旅館業) ○ 3月は消費税増税による駆け込み需要で、近年にない売上に好転したが、4月からはパッタリ。(普通洗濯業)
	建設業	☁	<ul style="list-style-type: none"> ○ 工事量の増加の中、技能者の不足が続いて、皆忙しくしており、売上が好転している。現在は、年度変りで落ち着いている。(左官業) ○ 前年同月と比べても、前月と比べても特に変化は無い模様。(土木工事業)
	運輸業	☔	<ul style="list-style-type: none"> ○ 消費税増税分の転嫁は問題が無いようだが、燃料高のコスト転嫁は非常に困難となっている。(一般貨物自動車運送業) ○ タクシー運賃は、消費税の増税分の変更となったが、タクシーメーターの交換費用や事務処理の変更、燃料費の高値、利用客の減少など、収益状況は苦しくなる一方で、賃金上昇どころではない。(一般旅客自動車運送業)

中央会理事会を開催

5月20日(月)、山口市「新山口ターミナルホテル」において、本年度第1回理事会を開催しました。

理事会の開催に当たり、伊藤会長から、「景気回復の実感も、中小企業や地域経済に波及し始めているところであるが、まだまだ景気の先行きに対する不安感は払拭できない状況が続いています。このような中、本会といたしましては、昨年度は、『アクションプラン2011』の総仕上げの年と位置づけ、役職員が一丸となって、対応

してまいりましたところ、多くの新規組合設立を実現するとともに、国の地域資源や新連携の認定、経営革新計画の承認等一定の成果を上げることができました。来年度に向けては、新たに「アクションプラン2014」を策定し、「組合制度等を活用した連携・創業支援」、「既存組織等の活性化支援」、「中央会の支援機能強化」の3つの取り組みにより、会員の皆様方が、厳しい時代を乗り越え、元気を取り戻していただけるよう、「元気で頼りになる中央会」を目指して、会員の皆様に寄り添う支援を心がけて行ってまいります。」という旨の挨拶を行いました。

議事として、(1)第59回通常総会提出議案について、(2)アクションプラン2014の承認について、(3)新加入会員の承認について、(4)世界スカウトジャンボリー寄付協力依頼への対応についての4議案が審



議され、全議案とも原案どおり承認されました。

また、議案審議の後、ものづくり補助金の概要（雇用等、地域経済への貢献度、平成25年度補正予算による第1回公募の一次採択及び二次申請状況等）等について説明を行うとともに、今後想定される第2次公募への積極的な応募を呼びかけました。

第66回中小企業団体全国大会のご案内

- | | |
|---|--|
| <p>1 日時 平成26年10月23日(木)
午後1時30分～</p> <p>2 場所 日比谷公会堂
(東京都千代田区日比谷公園1-3)</p> <p>3 スローガン
団結は力 見せよう組合の底力！
～組合で進めよう！中小企業の持続的発展～</p> <p>4 参加者 約2,000名</p> | <p>5 来賓 関係大臣、政党代表、中央関係機関の長</p> <p>6 参加料 1人 5,000円</p> <p>7 主催 全国中小企業団体中央会、都道府県
中小企業団体中央会</p> <p>お問い合わせ先
山口県中央会 管理・企画課
☎083-922-2606 (担当：山本・松村)</p> |
|---|--|

多数のご参加を
お願いいたします。

山口県知事、山口労働局長、山口県教育長 が若者の正規採用枠確保等を要請

5月14日(水)、木村進山口県商工労働部長、山口晃山口労働局長、浅原司山口県教育委員会教育長が本会を訪ねられ、若者の正規採用枠の確保等の要請文を受け取りました。

県内の雇用情勢は、3月の山口県下の有効求人倍率が1.06倍と、緩やかに改善していますが、雇用形態や業種によって求人と求職のミスマッチが生じているなど、一部に厳しさが残っています。



雇用確保等に関する要請

県内の雇用情勢については、有効求人倍率が昨年11月に1倍を超えた後、3月は前月を0.02ポイント上回る1.06倍となっており、緩やかに改善していますが、雇用形態や業種によって求人と求職のミスマッチが生じているなど、一部に厳しさが残っています。

山口県では、「活力みなぎる山口県」の実現に向け、地域の活力源となる強い産業を創り、地域経済の活力を高めるために、瀬戸内産業力の強化をはじめとした取組を進める中、雇用対策については、雇用の場の創出や多様な職業訓練などを積極的に推進しているところです。

また、山口労働局においても、「全員参加の社会」の実現に向け、若者の安定雇用の確保、女性の活躍促進、障害者、高齢者、離職者等、すべての求職者に対する就業支援の拡充などの雇用対策を推進しています。

こうした対策については、山口県と山口労働局が緊密に連携して取り組むこととしており、ハローワークや若者就職支援センターを中心とした新規学校卒業予定者や離職者等の就職支援など、各種施策を積極的に推進しているところです。

については、貴会におかれましても、傘下の会員企業等に対して、若者、離職者、高齢者、障害者等の雇用確保に積極的に取り組まれるとともに、雇用の維持にも最大限の努力を賜りますようお願いいたします。

併せて、意思決定層への女性の登用(ポジティブ・アクション)やワーク・ライフ・バランスの推進など、女性の活躍に向けて取り組んでいただきますようお願いいたします。

- 1 若者の雇用確保**
 - ・新規学校卒業予定者の正規採用枠の確保
 - ・卒業後3年以内の未就職卒業者の新卒枠での応募機会の確保
- 2 離職者の雇用確保**
 - ・離職者に対する門戸拡大、雇用確保の積極的な取組
- 3 高齢者、障害者の雇用確保**
 - ・希望者全員が65歳まで働ける高齢者継続雇用の積極的な取組
 - ・障害者雇用率の引上げに対応した障害者の積極的な雇用確保
- 4 女性の活躍推進**
 - ・ポジティブ・アクション、ワーク・ライフ・バランスの推進

平成26年(2014年)5月

山口県知事 村岡 嗣 政晃司
厚生労働省山口労働局長 山口 晃
山口県教育委員会教育長 浅原 司

要請は、新規学卒者や離職者をはじめ、高齢者及び障害者等の就職支援や女性の活躍促進への積極的な取り組みに関するもので、伊藤会長からは、機会を捉えて、会員組合及び組合員傘下企業へ要請する旨の発言がありました。

要請文につきましては、本会ホームページに掲載するとともに、会員の皆様にその写しをお送りします。

本会会員組合及び組合傘下の企業の皆さまには、要請の趣旨をご理解の上、新規学卒者等や若者等の積極的な雇用に取り組んでいただきますようお願い申し上げます。

今月の

さわやかレター

2014
Jun



湯田温泉旅館協同組合

浜崎 則江さん(左) 三輪 富規子さん(右)

組合の職員になられて、三輪さんは7年、浜崎さんは4年弱、「湯田温泉旅館案内所」で、観光案内と旅館の宿泊予約業務を担当されています。

趣味を伺うと、三輪さんは「エレクトーンの演奏です。」、浜崎さんは「韓国ドラマを見ること。」と答えられました。

好きな言葉は、三輪さんは「努力は実る。」、浜崎さんは「ほどほど、何事もほどほど。」とのこと。

日々業務の中では、笑顔で観光客に接することをいつも心がけておられます。

組合のPRをお願いしたところ、「湯田温泉のキャラクターの「ゆう太、ゆう子」をよろしく願います。また、7月13日(日)、「第2回ご当地温泉卓球 全国大会 in 黒川温泉」が開催されます。ただいま、参加者を募集中ですので、奮ってご参加下さい。」と笑顔で答えていただきました。

取材中も観光客の方が「足湯」の場所を訪ねてこられ、三輪さん、浜崎さんお二人とも笑顔で接客されていました。

表紙写真

「新ものづくり補助金」採択企業説明会
(山口市「山口県健康づくりセンター」)

編集・発行

 山口県中小企業団体中央会

〒753-0074 山口市中央4丁目5番16号 山口県商工会館6階

☎ 083-922-2606 Fax 083-925-1860

<http://axis.or.jp/>



印刷製本 株式会社 桜プリント社